

自己評価結果公表シート (2020年度)

学校法人 三宅学園 ふなお幼稚園

1. 本園の教育目標

家庭的な雰囲気とゆったりとした環境のなかで、キリスト教の愛と奉仕の精神を基として、①自分から挨拶する子ども、②呼ばれたら「ハイ」と返事が出来る子ども、③行儀の良い子ども、④思いやりのある子ども、⑤創造性・感受性豊かな子ども、に育てる。そのために職員一人ひとりが⑥子どものお手本であることを常に意識しながら、言葉遣いや立ち居振る舞いに気をつけて保育に取り組む。また 子ども・保護者・職員が共に育ち合う関係を築けるよう、連携を密にしながら日々の教育保育に取り組む。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

子どもの心身の健やかな成長のために、前年度の反省を生かしながら

- ・指導計画を見直し改善していく。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から余儀なく休園措置が取られている中で、子どもの心身の成長発達を保障するために、園として出来ることを考え、即実践していく。
- ・徒歩 10 分程度の場所（浜寺元町）に畑を借りることができたので、子どもと一緒に季節に応じた作物を栽培し、身近に自然を感じることで生物や食への関心を深める。
- ・職員における共通理解の促進。
- ・ICTソフトを活用しながら業務効率の向上を図る。登降園管理はソフトのアップグレードまたは別のソフト導入も検討する。
- ・コロナ禍においても、常に園と家庭の連携ができるような方策を検討し、実践する。
- ・各クラスに 1 台タブレットPCを購入し、インターネットや映像記録などの機能を保育に活用できるようにする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
指導計画の見直し	<ul style="list-style-type: none">・未曾有の状況下で、休園になった期間においてオンライン(LINE、YOUTUBE、ZOOMなど)でも出来ることを試行錯誤しながら実践した。・貸農園では5月にサツマイモの苗を植え、草抜きなどのお世話をした結果、10月に3~5歳児がお芋ほりをすることができた。11月からオオムギ(種蒔き)とエンドウ(苗植え)を栽培している。・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う休園期間があったことで、特に年少の子どもが不安にな

	<p>らないように、縦割り保育（ファミリー活動）の時間を設けて、年長者が年少者をお世話する等、子どもが安心かつ楽しく園生活が送れるように努めた。</p>
職員の共通理解と業務効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> • 出勤時刻により朝礼を2回（8:15、9:15）に分けて実施することにより、教育保育方針を全員が理解できるよう努めている。またICTにおいては、指導要録作成支援ソフトを活用したり、8月に導入した登降園管理ソフトを活用したりすることによって作業時間が短縮され、業務効率の向上に努めている。 • 月一回、正職員全員参加で土曜会議を行って、職員同士のコミュニケーションを深めながら教育保育方針の意思統一を図っている。 • 指導要録の作成は担任がそれぞれのパソコンで作業できたので、指導要録にかかる時間を短縮することが出来た。
家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> • 園児の登降園時には職員がインカムをつけて、門で直接または電話やLINEによる連絡で保護者から聞いた内容を伝え、園児の情報を全員が把握出来るようにしている。 • 今年度は新学期当初から登園自粛や臨時休園の措置があったので、休園期間中は毎日youtube動画「おうちでようちえん」を配信したり、LINEを活用して園児一人ひとりとテレビ電話をしたりして、家庭との連携強化に努めた。 • 5月からは月1回クラス委員さんとの話し合いをして、情報交換をしながら保護者のニーズや意見を聞くようにしている。 • 10月後半より、保護者の保育参加（事前予約制で1人1回）を実施し、保育を手伝ってもらうことで、我が子の普段の姿（お友達や先生との関わり）を見てもらうとともに、保育方針へ理解協力をしてもらえるように努めている。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> • 防災指導計画に沿って、安全教育や避難訓練を実施し、子どもの安全意識の向上に努めている。 • 日頃から園内の安全点検をして、園児がケガをしないように安全対策（毎学期、クラスごとの

	オリエンテーション実施…遊具の使い方説明、危険があれば即排除、ケガをした際の記録・伝達・原因究明・再発防止策)を講じている。
--	----------------------------------------------------------------

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・休園期間中のyoutube「おうちでようちえん」では、映像が上手く流れなかった時もあったが、歌や製作など家庭でも出来ることを考えて配信したところ、たくさんの保護者から感謝のメッセージや写真、動画が送られてくるなど、好評を得ることができ、スムーズに園生活をスタートできる一助になったと思う。 ・クリスマス祝会は、ZOOMを使ったリアルタイム配信を行い、保護者さんは子どもたちの聖劇や歌、合奏を、家で見ることができた。事前に何度かテスト配信をしたので、ほとんどの保護者さんが不安なくZOOMに接続することができた。 ・貸農園での野菜栽培も順調で、春にエンドウ、初夏にはオオムギが収穫できる予定。 ・パソコンでの作業（個人エピソード記録や指導要録作成、ブログ作成など）が多くなってきているので、各クラス1台ずつあって作業時間を短縮することが出来た。 ・クラス委員さんとの話し合いも休園期間中はLINE 電話で行うなど、コロナ禍でも保護者さんとの情報交換をすることが出来た。 ・密を避けるため、保育参観をやめて1クラスにつき1日1名で保育参加を実施したところ、保護者から「先生の大変さが分かった」「こどもの普段の様子を見ることが出来て良かった」など、好評であった。 ・新型コロナ感染防止のため、浜寺4校区津波避難訓練など、地域の行事はすべて中止となり、地域の人達との交流は出来ていない。 ・クラスごとにオリエンテーションをして、遊具の使い方やお約束を伝えているので、子ども同士で注意する姿も見られる。園庭の木の枝で腕や足をケガをすることがあったが、すぐに伐採するなど安全に遊べるように努めた結果、大きな事故やケガはなかった。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続く中で、感染対策をしながら出来ることと出来ないことを整理して、子どもも保護者も安心できる教育保育を実践していく。 ・来年度から体操指導委託先の方針変更により、夏のプール指導ができなくなってきたので、その代替案を検討する。
職員の共通理解	<ul style="list-style-type: none"> ・登降園時に職員がインカムをつけることで、保護者からの情報を共有することは出来ているが、話す時

	<p>間が長くなったり、呼び出し先が不明な時があったりするので、短時間に確実に伝わるよう話し方を統一して練習していく。</p>
家庭との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ禍で密を避けるため、保護者参加行事が中止になることが多かったので、感染対策をしながらも実施可能な行事を検討していく。 • 月1回のクラス委員会を今後も続けて、保護者さんの要望を聞いたり、園の方針を伝えたりしていく。 • 保育参加が好評だったが、当日朝に注意事項を伝えたり、担任の声掛けが少なかったりして、戸惑う保護者さんもいたので、注意事項は事前に伝え、声掛けも多めにするよう心掛ける。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の津波避難訓練が中止になったが、もしもの時を考えて、園で津波避難訓練をする計画を立て、実行する。 • 引き続き毎日の安全点検やヒヤリハット記録をして、危険があれば即改善する。

6. 学校関係者の評価

職員が真摯に自己点検・評価に取り組んでいる様子が伺える。休園期間中のyoutube『うちでようちえん』配信のお蔭で、子どもたちも家で楽しく過ごすことが出来、休園明けの園生活に対する不安も軽減されたと思う。今後も保護者との連携・情報交換を密にしながら、これまで同様、子どもが安心安全で楽しく遊べる教育保育と、ブログなどの情報発信を続けていって欲しい。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。